

# 土橋自然観察教育林連絡協議会現地視察報告書

日 時：平成 26 年 5 月 25 日（日） 13：00～15：00

場 所：厚沢部町緑町土橋自然観察教育林

出席者：協議会員 3 名

事務局：水本絵夢（教育林コーディネーター）

## 視察打ち合わせ事項

### 1. 記念植樹域の取り扱いについて

- ・ 記念植樹域内に生育する広葉樹の位置をもとに、将来的にどのヒバの個体を樹木見本林の樹として育てるかを明確に定める。
- ・ 樹木見本林の樹として育てる個体については、植物園的な育て方（下枝を残す等）をする。植物園関係者のかたに意見をいただきたい。
- ・ 樹木見本林の樹として育てない個体については、町民が裾払いや間引きなどの林業体験を行うための材料として利用する。
- ・ 広葉樹の周辺にあり、広葉樹への干渉が予想される個体については、手を付けずにおく。
- ・ 記念植樹域に隣接するヒバの中径木が植樹されている地点については、樹木の密度が高すぎるため、間伐などを行ったほうがよいのではないか。その場合馬搬の見学会を行ってみてはどうか。



## 2. 樹木見本林空地に植樹する樹種について

- ・新しく樹木を植えた後の樹木見本林を図示するなどして、将来像を明確にする。
- ・水はけのよい土地に適する樹木を植える。
- ・カエデ科やサクラ科の樹木が少ないので、その仲間を同じ場所に比較できるようにまとめて植える。
- ・カシワやブナを植える。
- ・ヒノキアスナロの近くに、地元で身近に見る事の出来る針葉樹を植え、比較できるようにする。
- ・ブナの樹の近くにサワシバ、アカシデを植える。

## 3. その他要望

- ・ヤナギ科の樹木を第二見本林の現在のドロノキのある位置に植える。
- ・鳥見小屋を第二見本林（バンガローの「マロニエ」と「キビタキ」の間の位置）に移す。
- ・子供用の遊具は国道近くの空き地に移動した方が良い。